

平成26年10月6日

各小児がん拠点病院長 殿

独立行政法人国立成育医療研究センター総長  
五十嵐 隆

### 小児がん医療の診断支援事業について

平成25年4月に閣議決定されたがん対策推進基本計画では、重点的に取り組むべき課題として小児がん対策が掲げられました。これによって小児がん患者やその家族が安心して適切な医療や支援を受けられるような環境を目指し、小児がん拠点病院、小児がん中央機関の整備が開始されております。

独立行政法人国立成育医療研究センターでは、平成26年2月5日に小児がん中央機関の指定を受け、その強化事業の一環として小児がん医療の診断支援事業を行うことになりました。具体的には、(1) 小児がん拠点病院に対する放射線診断、病理診断、分子生物学的診断等の支援を行うこと、(2) 放射線診断、病理診断に関して、3ヶ月程度の研修プログラムを作成し、拠点病院の診断医育成の体制整備を行うこととしました。言うまでもなく、小児がんの治療方針の決定には正確な放射線診断・病理診断が不可欠です。また小児領域を専門とする放射線科医、病理診断医は全国的にも数が少なく、人材育成は喫緊の課題となっております。研修プログラムは別紙のとおりです。今年度から研修体制を組みましたので、院内への周知を何卒よろしく願いいたします。研修時期や期間、内容についてはできるだけご希望に沿ったものに調整をいたしますので、ご興味のある先生はぜひご一報ください。

#### 【問い合わせ先】

独立行政法人国立成育医療研究センター TEL: 03-0416-0181

放射線診療部部長 野坂俊介 [nosaka-s@ncchd.go.jp](mailto:nosaka-s@ncchd.go.jp)

病理診断部部長 中澤温子 [patho@ncchd.go.jp](mailto:patho@ncchd.go.jp)